



「震災直後はスコップ1本すらない。あるのは生き残った者たちの体ひとつでした」と野田社長



住宅建築で耐力壁や床板の下地として使われる構造用合板。厚さ24mm。国産材は節があるのが特徴



震災からほぼ4年たった現在の工場



サンプルとして使用する、構造用合板の表面を生かした応接室



国産材用に震災後新しく導入した機械。丸太をダイコンのかつらひきのように薄くスライスする



接着剤を塗って乾燥させた薄板を重ね合わせる。その後、9枚ずつ加熱しながら圧着し、左右を規格どりに裁ち落として合板が完成

海沿いの加工所に、5m以上の津波が直撃。全壊の状態から親会社や森林組合の支援を受け、約1年ですっかり元どおりに！
復旧後は、国産材比率を上げて、地元林業に恩返し

石巻合板工業株式会社（宮城県石巻市）

「津波が直撃したとき、会社に残っていた従業員は33人。事務所が3階に上がりかかろうとして難を逃れたが、車で避難した従業員のうちの3人が残念ながら帰らぬ人となりました」と、振り返る石巻合板工業㈱社長の野田四郎さん。震災発生時は県外へ出張中でしたが、急きょ石巻へ戻り、従業員の安全確認に走りまわった。工場の建屋は津波の直撃で大破し、1階の設備はすべて海水が浸水。原材料や半製品、重機などは流失し、一部はおびただしいがれきの中に重なり合っていました。



震災直後は……

生産ラインのある工場は津波の直撃を受け全壊。事務所棟の3階から見えていた社員は「工場周辺の付随施設が一瞬で流された」と話す

石巻合板工業の設立は昭和47年。コンクリート型枠用合板、住宅建築で下地材に使われる構造用合板を供給してきました。創業時から平成に入ってから、使用する木材は南洋産やロシア産が中心でした。「国産材へ転換するきっかけは平成9年の京都議定書。二酸化炭素排出量の削減に森林の効用が有効と位置づけられたことがきっかけです」と野田社長。その後、平成17年頃から国産回帰の動きが加速し、震災前には同社の国産材使用割合は7割に達していました。

地元森林組合からも ありがたい支援が

震災からの復旧には、親会社のノウハウが全グループを挙げての支援を号令。さらに、林野庁の復旧支援木材供給等緊急対策事業なども活用しました。

県内の森林組合からの支援も手厚かったですね。山で使っていた重機、クレーン、トラックの提供、片づけ作業も率先して引き受けてくれたんです。国産材を使っているほとんどによってかっと思いましたがと野田社長は話します。

再稼働にこぎつけたのは、平成23年の8月末。JAS規格の再監査を受け、再起をかけた最初の1枚が出荷されました。その後、23年度中に、ほぼ震災前の状態まで復旧。さ

らに増産体制を整え、平成26年の販売量は震災前比で15%増。国産材の使用比率は85%に拡大しています。使用している木材は、スギは宮城県、マツは岩手県や福島県、カラマツは岩手県と一部北海道など、被災地のものが多くを占めています。こうした国産材を使った新製品の開発や県産材製品の普及拡大などの取り組みが評価され、平成26年度の「一本づかい運動農林水産大臣感謝状」を受賞しました。

「これからも国産材で活路を開いていこう、それが支援してくださった方々への恩返しだと思っています。被災者の住宅建築が本格化しつつある今、目指せ！国産材使用比率100%を言葉に、ニーズにしっかり応え復興に貢献します」と野田社長は力を込めました。

大津波で養殖施設や作業船が流され、やむなく廃業する者も
そこで、少人数でも効率よく作業できるよう
「自動耳あけ機」などを導入し、今期、3年ぶりに出荷再開！



唐丹町漁業協同組合(岩手県釜石市)

岩手県の沿岸部は、ホタテやカキなどの養殖業や、サンマやサケなどの漁業が盛んです。しかし、東日本大震災の津波で養殖施設は破壊され、漁船の9割が流出。県内の漁業者が受けた被害は、総額112億2千万円に達した。

港施設を除くにはのりでした。養殖業でも多くの被害が発生し、釜石市にある唐丹町では、入り江に押し寄せた津波により、海上の養殖施設をはじめ、作業船、陸上の作業所などのすべてが壊滅。

唐丹町漁業協同組合の佐々木久二郎さんは、出荷直前だった4000頭のホタテも流れ、遠方に暮れるしかありませんでしたと話します。再建に向けて動き出したものの、高齢者を中心に、廃業する生産者も



最新の耳あけ機は、貝を1枚ずつそろえて投入するだけで、自動的に「位置決め・保持・穴あけ」が行われる。老若男女誰にでも扱えると評判



耳の穴にピンを通す作業は手作業で行うが、耳あけ機が穴あけ穴は「位置決め」が完璧なので、以前に比べ、ずっと簡単に通すことができる

唐丹町漁業協同組合の佐々木久二郎さんは、出荷直前だった4000頭のホタテも流れ、遠方に暮れるしかありませんでしたと話します。再建に向けて動き出したものの、高齢者を中心に、廃業する生産者も

まず取り組んだのは、「耳あけ」作業の省力化です。ホタテの養殖では、貝殻の端の「耳」と呼ばれる部位に穴をあけ、ロープにピンで固定し、海中に沈めます。震災前は、鎌

を使っての手の間のかかる作業でしたが、センサー感知式の「自動耳あけ機」を導入。これにより、以前は1分で10個に穴をあけるのが精一杯だったものが、60個ほど処理できるようになりました。さらに、ホタテを固定するためのピンをロープに取り付ける「ピンセッター」や、出荷前のホタテを磨く「クリーンカッター」なども導入。こうして、平成24年4月には専門の育成を再開。そして、平成26年9月、震災後、初めてホタテの水揚げが行われました。水揚げ量は震災前の半分程度でしたが、久しぶりの水揚げに、漁港は活気づきました。

佐々木さんは、「消費者の皆さんの応援は、心から感謝しています。その気持ちに応えるためにも、一生懸命、質のいいホタテを作り続けていきたいです」と、意気込みを語っていました。

地震直後の大津波に巻き込まれ、自慢の船は座礁……
一時は廃業を考えたものの、国の補助金を活用し
最新の「省エネ漁船」を新造して、震災前の水揚げ量まで回復！

岩手県は、日本有数のサンマの水揚げ地。震災前、大船渡市魚市場には年間約2万1700トンの水揚げがありました。

ただ、燃料価格の高騰などで、漁業者の経営状況は極めて厳しい状況に、そこに追い打ちをかけるように

東日本大震災が発生したのです。津波により、大船渡市漁協では、登録していたすべての漁船1401隻の約9割が大破するなど、甚大な被害が。

新沼長福さんのサンマ漁船「第二十八板丸」(19トン)も、港に係船中、



省エネ・省コストに優れた第二十八板丸。安全性・居住性も向上しており、甲板での作業を操舵室からモニタリングできるカメラが設置されたほか、居住区にはエアコンも装備



「新装備のなかでも、LED漁灯はとくに素晴らしいですね」と新沼さん。電力の消費量や電球の交換などのメンテナンス費用が大幅に下がり、経費を節約

津波に巻き込まれて座礁。修理不能なダメージを受けたため、解体処理するばかりでした。新沼さんは、「漁師は、船がないと何もできません。新しい船、船を造る資金もなく、一時は廃業を考えました」と、当時を振り返ります。漁協は、国の支援(共同利用漁船等復旧支援対策事業など)を利用し、漁船や加工施設などの再建に着手。新沼さんも、漁船が整備した船で、漁を再開することになりました。こうして平成25年に竣工した、新しい「第二十八板丸」には、震災前からの経営課題である、燃料費の高騰を克服できるよう、さまざまな省エネ装備・省エネ設計が盛り込まれています。



大漁旗を掲げるのも2年ぶりだね!

「経営はまだまだ苦しいですが、船は希望の光。新しい装備が上手に利用し、収益力を上げていきたいです」と、新沼さんは力強く話します。

大船渡市漁業協同組合(岩手県大船渡市)

灯を、白熱灯からLED電灯に変えることで電力の消費量が大幅ダウン。

また、船の形がスマートになったことで、水の抵抗が少なくなり、燃料の使用量が大幅に減りました。

竣工した平成25年は、操作に慣れないことや漁場の形成状況の問題があり、水揚げ高が伸び悩みましたが、平成26年は、震災前の水揚げを上回りました。

「経営はまだまだ苦しいですが、船は希望の光。新しい装備が上手に利用し、収益力を上げていきたいです」と、新沼さんは力強く話します。

被災地を「食べて応援しよう!」

いわて銀河プラザ

三陸の焼きウニや肉厚ワカメ、盛岡冷麺など、約2000点がズラリ銀座歌舞伎座の向かい側にある「いわて銀河プラザ」。店内では、三陸の焼ウニや肉厚ワカメ、県産豚100%使用のベーコンに盛岡冷麺など、約2000点の商品を販売。「小岩井農場ソフトクリーム」は銀河プラザのお供に人気です。「震災後は、「三陸復興」と題した売り場を設置しました。取り扱っている商品は震災前より増えているんですよ。新商品の情報も発信し続けます」と店長代理の大蔵国孝さん。

坂本店長のイチおし!



岩手産わかめ
肉厚で風味のよい三陸のわかめ。茎わかめも人気。
1袋 (200g) 540円・リ
アス海産物

岩泉ヨーグルト(加糖)
岩泉町産の厳選した牛乳を使用。
プレーンタイプも販売。
1袋 (1000g) 800円・岩泉乳業

無選別南部せんべい詰合せ
昨年3年ぶりに復活! 生のホヤの風味が楽しめる!
1袋 (8種18枚入) 453円・岩手県産物

お店データ
東京都中央区銀座5-15 南海東京ビル1階
03-3524-8282 (代表)
03-3524-8315 (商品の問い合わせ)
10:30 ~ 19:00 (毎月末日は17:00まで)
年末年始休業 | www.iwate-ginpa.net/
(価格がすべて税込み)

宮城県南三陸町の山内鮮魚店
松坂屋百貨店などで復興フェアを開催

福島県いわき市のファーム白石

宮城ふるさとプラザ COCO MIYAGI

缶かまぼこにカキの燻製など水産加工品が充実!
JR池袋駅にある「宮城ふるさとプラザ」。店内では、米どころ宮城が誇る「サニシキ」や地産品のほか、缶かまぼこなどの水産加工品も充実。飲食コーナーでは名物「山台牛たれ焼き」も味わえます。毎年3月11日前後には、被災地の姿を追った写真展などを開催。商品を買ってもらうことが生産者にとって何よりの励み。被災地の情報も発信し続けます」と店長代理の大蔵国孝さん。

大蔵店長代理のイチおし!



なめこ屋さんのいつでもなめこ
水に入れて5分ほど煮るだけで汁物が完成!
1袋 (25g) 410円・榮成
なめこ生産組合

マルタのきょうろ
果汁100%のストロー。甘さ控えめすっきりとした味。
1本 (600ml) 1,296円・田所食品

おさしほや
昨年3年ぶりに復活! 生のホヤの風味が楽しめる!
1袋 (300g) 972円・横田屋本店

お店データ
東京都品川区東池袋1-22 東池ビル1階・2階
03-5956-3511
11:00 ~ 20:00 年末年始休業
5月頃から休業を待たずリユースの予定あり。詳しくはお問い合わせください。
<http://cocomi-yagi.jp/>

日本橋ふくしゅ館 MIDETTE

イチゴやモモなど、季節ごとにフルーツフェアを開催!
平成26年4月にオープンした「日本橋ふくしゅ館MIDETTE」。果樹王国福島らしく、イチゴやモモなど、旬のフルーツフェアが充実しているほか、生産者が選りすぐりの店頭立つ、実演コーナーもあります。また、ワンコイン (500円) で3種類の日本酒が飲み比べできる「利き酒セット」も大好評!「商品を通して福島のおさを知ってもらおう」として風評を払拭し、イメージ回復をもうりたいですね」と館長の加藤泰彦さん。

加藤館長のイチおし!



なみえ焼そば
浪江町の古産グルメ、極太麺と濃厚ソースが特徴。
3食368円・旭屋

いもり佐太郎
さつまいもと栗をたっぷり使ったスイーツ。
1個150円・ダイオー

いか人参(錦秋)
福島県北部の冬の伝統の味。さっぱり味の漬物。
1袋 (300g) 648円・佐久果実店

お店データ
東京都中央区日本橋東4-3-16
東郷と深層ビル1階
03-6262-3977 平日/11:00 ~ 20:00
土日祝日/11:00 ~ 18:00
年末年始休業
<http://midette.com/>



セミナーで、放射性物質や農産物除去について説明。飯館村はもちろん、全国の大学などでも行い、計20回以上実施した。



「はじめるうちは、実験試験に対しては慎重な人も多かったが、実際に農地に足を運び、除染を解明することで活用していただけるようになりました」と万福裕造さん(右)。

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、福島県内の周辺地域などが、放射性物質で汚染されました。政府は、事故直後から放射性物質を除去する研究開発を開始し、農林水産省など、農地などの除染技術の開発をスタート。その中心人物の一人が、当時農林水産技術会議事務局に勤務していた万福裕造さんです。国際農林水産業研究センターで、「事故後、放射性物質除去の技術開発を担う」として、平成24年4月から2年半の間、福島県飯館村の復興対策課に派遣されました。地域の方々のために、一日でも早く効果的な除染方法を見つければ、睡眠時間も削って技術開発と地元との調整に取り組まされた。

万福さんら技術陣が開発した4つの除染方法

【1】表土削り取り

事故直後未耕起の農地では、放射性セシウムの大半は土壌の表層に存在する。表層ごと物理的に除去することで高い除染効果が望めるが、除去した大量の土壌を持ち出す必要がある。

【2】反転耕

土壌の表層と深層を反転ブラウ(鋤の一種)で入れ替える方法。簡便で、除去した土壌を持ち出す必要もない。ただし、放射性物質は除去されたい。高濃度汚染地域には不向き。

【3】深耕

土壌を30cm以上の深層まで耕すことにより、土を攪拌し、放射性セシウムを希釈する。削り取りや反転耕より効果は劣るが、最も簡易な方法。

【4】水による土壌攪拌除去

土壌中の放射性セシウムが細かい粘土粒子に吸着する特性を活用する。田んぼに入水して土壌と攪拌し、水中に懸濁した粘土を排水によって除去した後、排水は濾過などによって水と粘土に分ける。取り出した粘土の処分が課題となるほか、土壌によって除染効果はばらつく。

除染作業の復興・復興現場レポート

原発事故直後から、農地の除染研究を始めた万福裕造さん。寝る間も惜しんで開発した、4つの除染技術で、飯館村の米や野菜の、放射性セシウム濃度が基準値以下に!

(国際農林水産業研究センター/万福裕造さん)



現在、万福さんは除染技術開発の担当からは離れているが、定期的に飯館村を訪れている。